



2016～17年度テーマ

# 中村ロータリークラブ

## 例会記録 (2016～2017)

会 長/大 杉 幹 夫  
 幹 事/江 口 久 夫  
 会報委員長/永 木 寛

創 立/昭和38年10月 2 日  
 例会日/水曜日 12:30～13:30  
 例会場/新ロイヤルホテル 四万十  
 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F  
 TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553  
 ●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2479

第2610回 平成29年1月25日 (晴れ)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 高添 信行様 (三原村役場 参事)

2月1日(水) のプログラム：ゲストスピーチ 森本琢磨様 (龍馬の生れた町記念館学芸員)

2月8日(水) のプログラム：ゲストスピーチ キム・ヘミン様 (四万十町国際交流員)

### 【会長挨拶】大杉会長

- 本日のゲストは三原村参事の高添信行様です。  
『ユズの産地化による地域の活性化』についてスピーチをお願いします。
- 今年は大政奉還から150年、来年は明治維新から150年ということで、「志国高知・幕末維新博」が3月4日より始まります。四万十市では、幕末の志士、樋口真吉、安岡良亮などがおりますが、来週の例会で、「龍馬の生まれたまち記念館」学芸員の森本琢磨様をゲストに迎えスピーチを予定しております。当日は中平四万十市長も来るようになっていきますので、よろしくお願いします。

- ・香長RCより  
創立40周年記念例会のご案内  
5月27日(土) 15:00～ アンジェラブラン
- ・宿毛RCより週報拝受
- ・四万十RCより  
1/31 (火) 例会休会のお知らせ
- ・青少年健全育成四万十市民会議より  
講演会のご案内 2/5 (日) 13:30～  
中央公民館 (的場亮氏 講演)

### 【幹事報告】江口幹事

- ガバナーエレクト柳澤光秋氏より  
大杉幸雄会員へ地区財団委員会補助金VTT  
委員会委嘱状が届いていますので贈呈します。
- ガバナー事務所より  
国際ロータリージョン・F・ジャーム会長より  
ウェブサイトのデザイン一新のメール拝受
- 米山記念奨学会より  
12月の寄附金明細書

### 【委員会報告・会員発言】

#### ■荒川次期幹事

来年度の地区補助金事業案は、以前行った「カマドベンチ」の要望がありましたので、その方向で検討しています。

#### ■青木親睦副委員長

本日、午後6:30より「還暦・長寿祝い」を、当ホテルにて開催しますので多数のご出席をお願いします。



## 【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 高添 信行様（三原村役場 参事）



## 「ユズ産地化による地域の活性化」

皆さんこんにちは。三原村参事の高添です。私は県の職員ですが、三原村が大好きで、昨年10月から三原村へ出向してまいりました。

本日は「日本一の青果ユズ産地化に向けて」という資料をお配りさせていただきました。これを読んでいただければ概要はわかると思います。三原も少子高齢化による人口減が進み、一次産業に取り組む後継者も少なくなっています。そんな中、幡多の管内で調査した結果、ユズであれば可能性があると考えました。

三原村では平成7年からユズを作っております。既存のユズ農家は傾斜地に作っていますのでなかなか肥培管理、収穫なども大変でした。三原村は平場に植えております。平場での水を排除する作業や鳥獣対策を行うなど、その他いろいろと改善しながら進めております。

農業公社が村の代行者として農地を集積してユズを植えました。そして農業公社が5年間ぐらい肥培管理をして収穫でき始めたところで新規就農者に無償で提供するようにしています。それにより新規就農者も1年目から収益が得られます。また国の新規就農者支援制度なども活用しています。

三原村ユズ選果・搾汁施設を作ったことで、ユズを直接施設に持ち込んで頂き、選果されて出荷されるようになりました。

国の制度を利用して運営していますので、農家への負担金が少なく済みます。新規就農者が増えもらうことで地域の活性化につながり村の発展につながっていきます。10a当りに通常であれば70~80本の密植をしてなるべく早い段階から収穫しようとするのが既存の産地の方法でしたが、三原の場合は40本だいたい5m間隔で植えることにより、機械化しています。ゴーカート式の草刈り機を三原村農業公社が貸し出して、簡単に行うことができるようになりました。

いろいろなところから視察にお越しいただきますが、多くの方が「これはうちではできない」と言われて帰ります。三原村はこれらの取り組みについて初めは10ha位から始めましたがこの7年で50haになりました。三原の最終目標は100haを想定しています。そうすれば2000t位の収穫が見込まれますので、高知県でもトップクラスの産地になる予定です。

高知県は全国でも有名なユズ産地ですので、三原村が産地化することで高知県が一番の産地を維持していくことができると思います。このような取り組みを村や農業公社が中心になって行っているのは珍しいケースということで農水省の全国20か所のモデルケースの中に紹介されています。

地域活性化の流れに乗って進めていきたいと思えます。都会からの就農者に対しても、農地・農業機械などフォローし、住宅についても国の制度をうまく活用して提供するなど進めています。

最近、「三原村が元気になっているね」と言われるように、また幡多地域全体が活性化していくように進めていきたいと思えますので今後ともよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

## 【ニコニコ箱】

大杉会長：高添信行様、スピーチありがとうございました。

佐竹会員：江口幹事様、大雪の中、坂出での勉強会、代理出席ありがとうございました。

川村会員：お正月も無事に済ませました。たくさんのご参拝ありがとうございました。

稲田会員：高添様、本日はスピーチありがとうございました。

大塚会員：高添参事、本日はありがとうございました。

## 【出席報告】・会員総数49名（免除会員5名）

・本日の出席/34名 77.27%

・先週の訂正 MU6 70.45%→84.05%